

地域土壤医の会の案内

土壤医の会は、土壤医検定試験に合格した資格登録者を中心とした組織で、研鑽や交流を行う場です。

企業や団体の会員を中心とした事業体土壤医の会に対して地域土壤医の会は、土壤医検定資格登録者に限らず、会の活動エリアにお住まいの方で会の主旨に賛同する方であればどなたでも会員（準会員）として入会することができます。

現在18の地域に設立されていますが、会の活動は会員の自主的な運営を基本に行われています。

これから、地域土壤医の会に入会あるいは土壤医資格登録者で地域土壤医の会の設立を検討する方の参考に各会の基本的な事項についてご案内をいたします。なお、詳細は、会の問い合わせ先に連絡をお願い申し上げます。

■ 各会の名称をクリックすると案内にジャンプします。

会No.	名 称	所 在	情報更新
01	沖縄土壤医の会	沖縄県	
16	首都圏土壤医の会	東京都	2020.4
20	新潟県土壤医の会	新潟県	2020.6
21	柏土壤医の会	千葉県	2020.4
22	高知土壤医の会	高知県	
23	信州土壤医の会	長野県	
25	北海道オホーツク土壤医の会	北海道	
26	大分土壤医の会	大分県	
28	札幌土壤医の会	北海道	
29	茨城土壤医の会	茨城県	2020.5
31	三重県土壤医の会	三重県	
32	愛媛土壤医の会	愛媛県	
33	近畿土壤医の会	大阪府	2020.4
34	九州土壤医の会	長崎県	2020.4
36	福岡土壤医の会	福岡県	
37	北部九州土壤医の会	福岡県	
38	宮崎土壤医の会	宮崎県	2020.4
—	土壤医の会全国協議会	東京都	

沖縄土壤医の会の案内

1.会の名称

沖縄土壤医の会

2.設立許可年月日

2014年11月17日

3.会長

宮丸直子

4.会長のプロフィール

土壤医・東京農工大学客員教授

5.事務局の住所、連絡先

住所：〒901-0362

沖縄県糸満市真栄里 1396-9A 沖縄農業技術開発株式会社内

連絡先：mail@okinawa-nougyou.net

6.会員数

正会員：14名

準会員：40名

7.会の特色.

平成26年11月に全国初の地域土壤医の会として設立された「沖縄土壤医の会」は、土壤研究者のほか、農機メーカー、農業共済組合、環境分析機関、民間コンサル、NPO法人、普及関係機関などに所属する多様なメンバーで構成されています。会の活動として特に力を入れているものは、土壤断面調査、講習会、土壤医検定試験に向けた勉強会です。沖縄の土壤は、下層土に生育阻害要因があることが多いため、土壤断面調査ができる人材の育成は重要な課題です。講習会では、近年の土壤研究の成果や現状などについて会のメンバーが講師として発表することで、会員相互の自己研鑽を促しています。また、土壤医検定試験に向けた勉強会では、集中講座を設けて受験者の合格を後押ししています。

多様な人材が集まる沖縄土壤医の会では、会の運営は会員相互のボランティアで成り立っています。会員の意見・要望に応じた活動に取り組むことで、柔軟性の高い活動ができるよう心掛けています。

8. 4月～9月（上半期）の活動状況

- ・令和元年 5月 25日：総会及び特別講演
 1. 「土壤保全に向けたグリーンベルト等 NPO の取り組み」
講師：西原 隆（土づくりマスター）
 2. 「北大東の燐鉍山と農業」 講師：宮丸 直子（土壤医）

- ・令和元年 9月 14日：簡易土壤診断講習会
「pH と EC から何が見えるか？」 講師：宮丸 直子（土壤医）

9. 10月～3月（下半期）の活動計画」

- ・令和元年 11月：土壤断面調査講習会
- ・令和 2年 1月：土壤医検定試験対策勉強会

10.入会のお誘い

会の運営は会員相互のボランティアで成り立っています。入会について要件等はありませんが、会の活動・運営に積極的に参加される方を歓迎いたします。

首都圏土壤医の会の案内

1. 会の名称 首都圏土壤医の会

2. 設立許可年月日 2017年4月1日

3. 会長 高山晃

4. 会長のプロフィール

埼玉県在住。農協全国組織に勤務後、98年に就農。
2016年5月に土壤医の資格を取得。中小企業診断士

5. 事務局の住所、連絡先

東京都多摩市連光寺 6-24-5 ビューハイツ I 201 号室

メールアドレス

info@xn-ekrx2gnbu0i639kk1k.jp

info@首都圏土壤医.jp

6. 会員数

正会員：38名

準会員：10名

7. 会の特色.

(1) 会の目的

本会は土づくりに関するアドバイスや指導力の一層の強化を図るため、地域土壤医の会として首都圏内（東京都、茨城県、栃木県、群馬県、山梨県、神奈川県、埼玉県、千葉県）に在住する会員相互の研鑽と交流を深めるとともに、会員の情報ネットワーク等を通じ土づくりに関する課題解決力を高めることによって地域の農業・農村、都市農業の活性化等に貢献することを目的としている。

(2) 会の特徴

付録 首都圏土壤医の会の機能と活動の考え方参照

8. 昨年度の活動状況

(1) 第3回定期総会研修会

開催日 6月14日 場所 東京都

基調講演 「腐植ならびに腐植物質を活かす土づくり」

講演者：東京農業大学 農芸化学科 土壤肥料研究室

加藤 拓 先生

研修 土壌医活動事例発表

「水稲、ナスの収量・品質低下等に対する土壌診断による改善の取組み
《付：葉菜類の育苗改善》

発表者：首都圏土壌医の会 副会長 谷田貝 敦



(2) 現地研修会

① 第1回

開催日 令和2年2月7日

開催場所 埼玉県立・川の博物館（埼玉県寄居町）

<https://www.river-museum.jp/about/access/>

講師 同博物館・森先生（農学博士）

講演内容 「日本に分布する主な土壌とその特性」

- モノリス（土壌断面標本）を活用し、日本の代表的な土壌の実際について解説（土壌図の活用や作物生産との関連についても学習）
- 埼玉県寄居町の畑地土壌を用いた土性実習



② 第2回

山梨県での現地研修会を予定していたが、COVID-19の影響で中止

(3) 研究部会活動

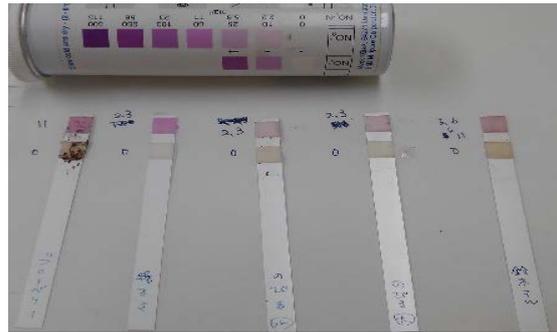
① 市民農園等小規模圃場の土づくり研究部会

第1回

- 開催日および場所 4月28日 13時30分～17時 場所 東京都内
- 内容
 - ・ 簡易土壌分析 演習
 - ・ 個人活動報告 報告者 研究部会 渡部恵氏 藤森利雄氏
 - ・ 研究部会の今後の進め方について検討

土壌分析結果 (2019年4月28日実施)

分析機器	pH			EC			
	HANNA pH計 HI 9142D	シフ	多田さん所有	HANNA EC計 HI 9830	HANNA EC計 HI 9830	多田さん所有	
芹澤さん	◆ ブルーベリー圃	3.4	3.8	3.7	3.21	—	4.8
	◆ 蕎麦圃	4.9	6.7	5.2	0.10	0.08	0.09
鈴木さん	◆ 畑の土	5.3	6.8 (土壌測定)	6.1	0.24	0.16	0.16
			6.6				
高山さん	◆ ノビル(小)が生育	6.0	6.8	6.4	0.06	0.04	0.04
	◆ ノビル(大)が生育	5.7	6.7	6.1	0.07	0.06	0.07



第2回

- 開催日および場所 9月14日 場所 埼玉県川越市
- 内容
 - ・ 家庭菜園圃場の土壌分析調査



4-1. 化学性・生物性分析1]

園地(名称等) 川越市農×園 高橋様 生育の良いトマトの株元

採取日・測定日

土壌pH: EC

土壌pH: 6.8-6.9 電気伝導度 (EC): 0.2

硝酸濃度(土壌抽出液と蒸留水濃度比1:5で測定) 20ppm
 $20 \times 5 \times 10^{-4} = 0.10 \times 10^{-3} \text{g/土壌g}$
 $= 0.10 \text{mg/土壌g} = 10 \text{mg/土壌 100g}$

生物性

トビムシ類、ダニ類を中心に非常に豊富な土壌動物が観察されました。

第3回

- 開催日および場所 10月26日 場所 東京都上野
- 内容
 - ・ 土壌調査結果検討

第4回

- 開催日および場所 12月1日 場所 埼玉県川口市
- 内容
 - ・ 福祉農園の土壌分析調査



第5回

- 開催日および場所 1月17日 場所 埼玉県吉見町
- 内容 ・ ガーデン圃場の土壌分析調査



第6回

- 開催日および場所 2月2日 場所 埼玉県北本市
- 内容 ・ ガーデン圃場の土壌分析調査



北本市（緑田塚）ガーデン圃場調査結果 2020年2月2日（日）

調査地点	pH (アモニウム)	画像	EC (水道水で測定)
①	6.5		0.17
②	6.0		0.15
③	6.5		0.16
④	6.5		0.18
⑤	7.0		0.19
⑥	6.5		0.12

(地点は下図を参照) ※地点の位置はあくまでも目安です。

場所 (白野町) 埼玉県北本市白野 緑田塚 緑野園 緑野園
 開催日・実施日 2020年2月2日(祝日)・2月12日(実業)
 土壌pHとEC

土壌 pH: 6.7 EC: 0.17 mS/cm

生物性

葉物・ハネカクシ類、その他はサメザル(黒色)・どちらも一般的によく見られる土壌動物、その他、採取時のゴミの混入が疑われました。

備考

② 土壌図活用研究会

第1回現地研修会を、研究会が共催した。

③ 簡易土壌分析研究会

昨年度は実施されなかった。

④ 土壌医検定対策講習会研究部会

土壌医検定試験対策講習会を以下の日程で開催し、3級、2級合わせて20数名の参加者を得た。

講習会日程及び各講習会の内容(2019年度) 会場：鴻巣市市民活動センター

	3級 (17:30 ~ 19:20) 講習内容	2級 (19:30 ~ 21:20) 講習内容
11/23 (土)	オリエンテーション 検定試験3級の傾向など	オリエンテーション、検定試験2級の傾向
12/7 (土)	土壌の化学性	化学性診断と対策の方法
12/21 (土)	土壌の化学性	肥料・土壌改良剤・堆肥の種類と特色
1/4 (土)	土壌の物理性、生物性、作物の生育障害	土壌物理性診断と改善対策、土壌生物性診断
1/18 (土)	土壌・施肥管理、作物の施肥特性と施肥管理	作物の栽培特性と土壌管理
2/1 (土)	3級模擬試験演習	2級模擬試験演習

(4) 令和元年度土壌医検定試験準会場設置

埼玉県鴻巣市市民活動センターにて、2級・3級の一般の受験者向けの試験会場の設置を行い、全部で83名の受験があった。



9. 入会のお誘い

入会の方法、手続きについては、首都圏土壌医の会HPの入会案内を参照下さい。

首都圏土壌医の会 HP

<http://首都圏土壌医.jp/index.html>

<http://首都圏土壌医.jp/form1.html>

首都圏土壌医の会事務局 メールアドレス

info@xn--ekrx2gnbu0i639kk1k.jp

info@首都圏土壌医.jp

(付録)首都圏土壤医の会の機能と活動の基本的考え方

I 首都圏土壤医の会の機能

1. 会員の研鑽の場の提供
2. 会員の活躍の場の提供
3. 一般に向けた土壤医等資格の認知促進

II 首都圏土壤医の会の活動の基本的考え方

1. 土づくりを必要とする現場
2. 土づくりの知識を必要とする職業、職場、分野
3. 首都圏土壤医の会の可能性
4. 首都圏土壤医の会の取り組み方法
5. 首都圏土壤医の会と準会員

I 首都圏土壤医の会の機能

1. 会員の研鑽の場の提供

- (1) 土壤に関する知識の維持・向上、土壤分析等の経験値向上
 - セミナー ○土づくり現地研修会 ○総合研修会
 - 土壤調査基礎講習会
- (2) 土壤医等登録者の交流・情報交換
 - 交流会の開催
 - ウェブサイトによる会員間の情報交流
- (3) 上位資格取得等に向けた研修等
 - 土壤医検定試験対策講習会
 - 協力農家と連携した研修・研究の場の提供(将来構想)

2. 会員の活躍の場の提供

(1) 研究部会活動

会員が、各自の課題・思いに基づきテーマを定め仲間を集め研究部会活動を行うもので、首都圏土壤医の会の目的に沿った研究・情報交換等を行い、首都圏土壤医の会の発展に寄与することを目的とする。

(2) 個別事業活動

個別事業とは、会員と行政、企業、団体、個人が協力連携して本会として実施する事業であり、首都圏土壤医の会の目的に沿ったものに限定し、首都圏土壤医の会の発展に寄与することを目的とする。

トピック

平成30年度「農の機能発揮支援アドバイザー派遣事業」の関係協力団体に指定されました。

首都圏土壤医の会の体制が整った段階で実施を検討する

3. 一般に向けた土壤医等資格の認知促進

認知促進対策イメージ

- (1) 一般に向けたセミナー、研修会の開催
- (2) 関係イベントへの積極的参加
- (3) 首都圏土壤医の会の活動をメディア等に積極的にPR

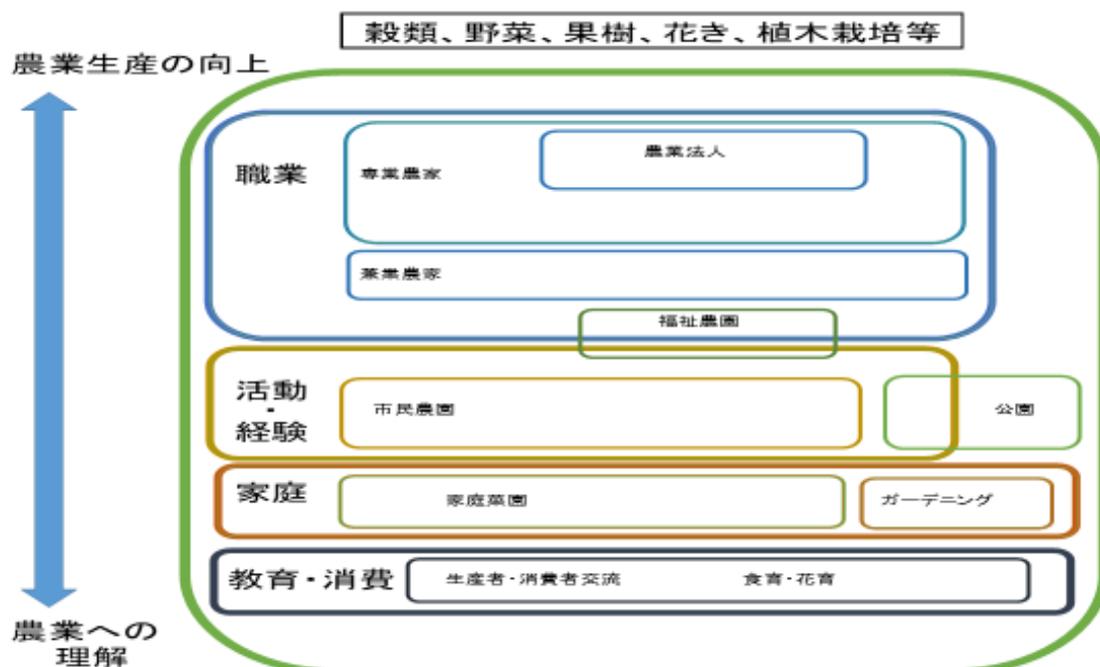
今年度は、実施体制が十分でないため、具体化に向けた検討を行う。

Ⅱ 首都圏土壌医の会の活動の基本的考え方

1. 土づくりを必要とする現場
2. 土づくりの知識を必要とする職業、職場、分野
3. 首都圏土壌医の会の大きな可能性
4. 首都圏土壌医の会の取り組み方法
5. 首都圏土壌医の会と準会員

Ⅱ 首都圏土壌医の会の活動の基本的考え方

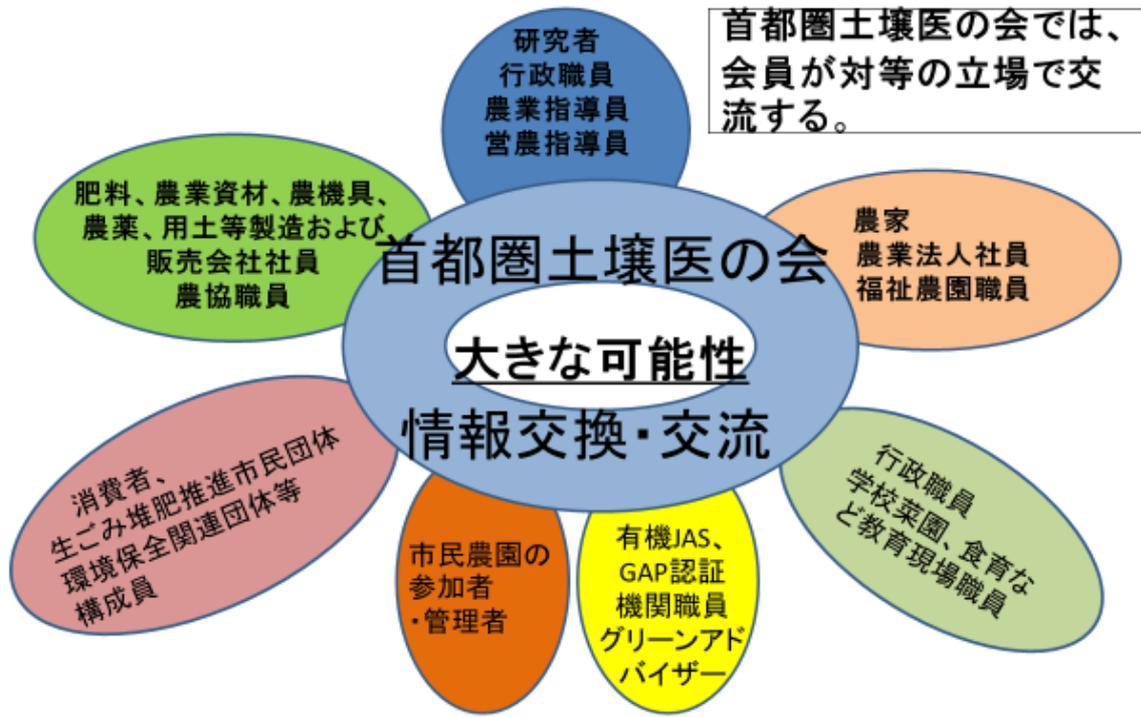
1. 土づくりを必要とする現場



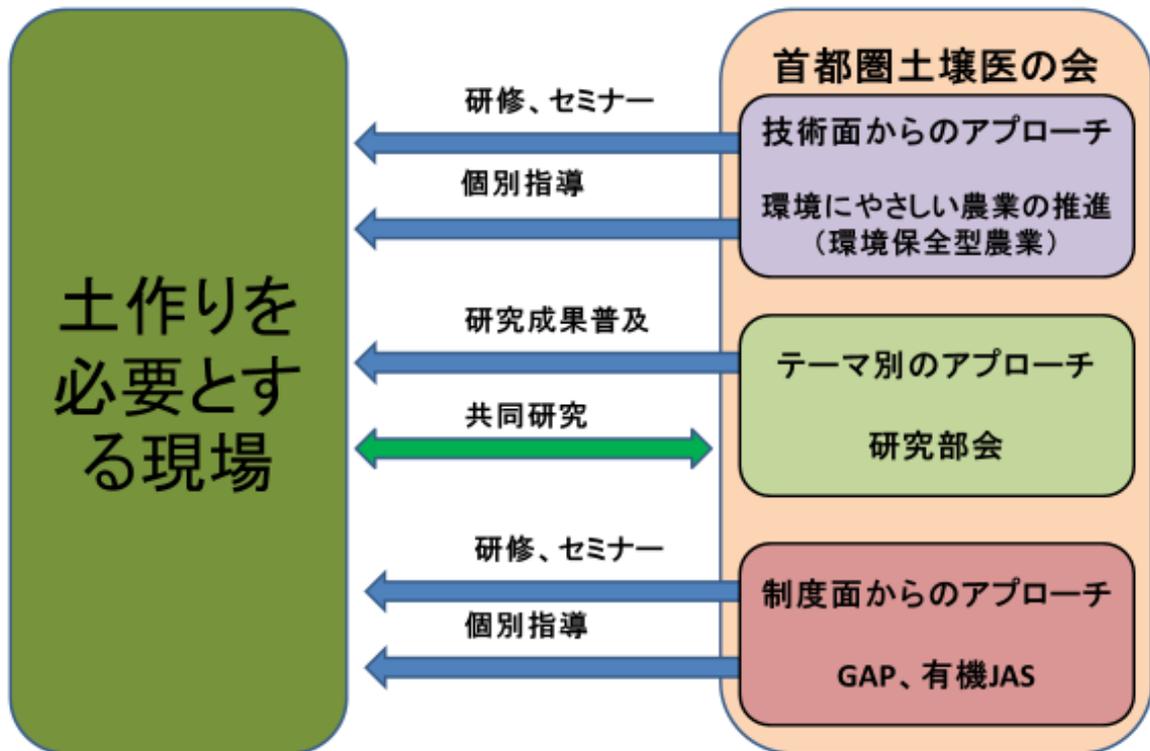
2. 土づくりの知識を必要とする職業、職場、分野

- (1) 農業
 専門農家、農業法人、兼業農家
- (2) 農業関連企業・農協
 肥料、農薬、用土、種苗、微生物資材、農機具、土壌改良剤等メーカー・販売店、農協
- (3) 農業行政機関
 行政農業関連部署
- (4) 農業関連機関
 GAP認証機関、有機JAS認証機関、土壌分析機関
- (5) 農業業際分野
 福祉農園、市民農園、生ごみ堆肥化推進団体、農業と環境をつなぐ活動
- (6) 教育、体験、趣味
 食育、家庭菜園、学校農園、ガーデニング、庭園、公園

3. 首都圏土壌医の会の大きな可能性

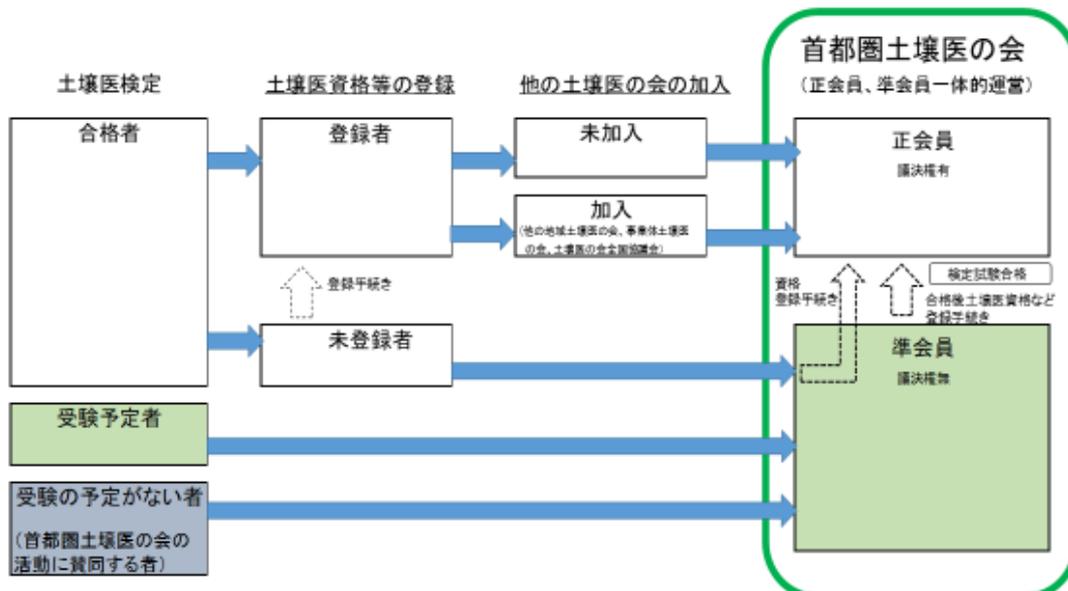


4. 首都圏土壤医の会の取り組み方法



5. 首都圏土壤医の会と準会員

首都圏土壤医の会では、活動に賛同してくれる人を積極的に受け入れます。



新潟県土壤医の会案内

- 1 会の名称
新潟県土壤医の会
- 2 設立許可年月日 2017年7月3日
- 3 会長
長谷川雅義
- 4 会長のプロフィール（2020年4月1日現在）
新潟県十日町地域振興局 農業振興部 副部長（十日町農業普及指導センター所長）
土壤医（登録番号 D14050028）
技術士 農業部門及び総合技術監理部門（登録番号 第71742号）
専門技術員（土地利用型作物）
JGAP、ASIAGAP 指導員及び内部監査員
GLOBALG. A. P. 内部検査員
- 5 事務局の住所、連絡先
新潟県十日町市妻有町西2-1
長谷川雅義
TEL 025-757-5847
- 6 会員数
正会員：24名
準会員：24名
- 7 会の特色.

新潟県土壤医の会は、新潟県内に在住または新潟県で活動している団体に所属する、広い人材と豊富な知識を有した会員で構成されています。具体的には、普及指導員、大学及び大学教員、学生、試験研究機関職員、JA及び全農職員、肥料メーカー担当者、NPO法人職員等が加入しています。

現在の会の活動目標は、資格登録者の資質の維持・向上に重点が置かれています。しかし、最終的な目標は、土壤診断による作物収量・品質の向上の成果を数多く上げて社会的評価を高め、土づくりの普及を図るとともに、資格登録者の社会的役割の向上を図ることにあります。この目標を達成するために、県

内の大学教員、独法及び県の試験研究機関職員、県職員、全農及び肥料メーカー担当者から成る新潟県土壌肥料懇話会と連携を密にしながら以下の内容に取り組んでいます。

(1) 会員及び資格登録者の資質の向上

新潟県土壌肥料懇話会や土壌医の会全国協議会と連携して各種研究会や研修会を開催し、研鑽機会を提供しています。

また、県内の合格者及び資格登録者を増やすために新潟県内での受験(2, 3級)を可能とする準試験会場の運営と合格をサポートするための講習会を開催しています。

(2) 会員間のネットワークの構築と情報交流の促進

ネットワークの構築や情報交換の場の拡大が重要と考え研修会等に合わせ交流会を開催するほかに新潟県土壌肥料懇話会と情報共有するため、お互いの情報を会員メール等で提供しています。

8 令和元年度の活動状況

2019年6月22日 令和元年度総会及び土づくり技術講演会

11月9日 土壌断面調査研修会

12月6日 新潟県土壌肥料懇話会第2回研究会(新潟県土壌肥料懇話会が主催し、新潟県土壌医の会が共催)。

12月24日 新潟県土壌医の会主催 土壌医検定2, 3級受験講習会

2020年2月16日 土壌医検定準会場新潟会場運営

1~4月 全国土壌改良資材協議会から受託した微生物資材現地試験実施(準会員ほ場で実施)



写真1 技術講演会の様子



写真2 土壌断面調査研修会の様子

9 令和2年度の活動状況

現在、新型コロナウイルス感染症の影響により、活動が大幅に制限されていますが、活動予定は、以下のとおりです。

(1) 令和2年度総会

新型コロナウイルス感染症対策のため、書面による協議を6月下旬に予定しています。また、例年総会に合わせて実施してきた技術講演会は本年度中止としました。



写真3 土壤医検定試験2級会場の様子

(2) 今後の活動予定

2020年10月下旬：土壤断面調査研修会

本会主催で土壤断面調査研修を実施。

12月上旬：土壤肥料懇話会第2回研究会

土壤肥料懇話会が主催し、土壤医の会の共催で開催。

12月下旬：土壤医検定受験講習会

土壤医検定2、3級受験予定者を対象に開催。

2021年2月14日：土壤医検定試験準会場運営（2，3級）

(3) その他

今後、総会の書面協議で承認されれば、会員各自が作成して使用している土づくり指導資料等をメールシステムを通じて全会員に公開し、各会員の自己研鑽(研修)に活用してもらうことを考えています。

10 入会のお誘い

新潟県土壤医の会の活動を活発にし、会設立の目標を達成するためには、多くの方から本会に入会してもらい会を活性化することと、それにより豊富な情報共有を図ることが重要と考えています。土壤医検定合格者や資格登録者はもちろんのこと、これから土壤医検定を受験しようかと考えている人も準会員に入っていただけであれば受験の情報やアドバイス等も行いますので、是非入会を検討してください。もちろん農業者の方や学生の方も歓迎いたします。

柏土壌医の会

1.会の名称：柏土壌医の会

2.設立許可年月日：2017年9月7日

3.会長：高野典子（こののりこ）

4.会長のプロフィール

一般園芸からの植物病害虫発生・蔓延を抑止する市民ボランティア所属中に土への関心が高まり土壌医に。児童公園（柏市子育て支援課管理）の植栽管理と綿栽培のボランティア活動をしています。趣味は虫（害虫、天敵、土壌動等）の観察。

5.事務局の住所：〒277-0856 千葉県柏市新富町 2-9-18

6.会員数 正会員：9名 準会員：5名

7.会の特色

市民農園・家庭菜園等、一般の園芸愛好家を主な対象として土壌診断（土壌 pH、EC、土壌動物観察）や栽培相談を行っています。土の健康管理の重要性を説明し多くの人に土への関心を持ってもらうこと、それによって耕作可能地の減少を少しでも食い止めることが目標です。会員の大半は植物好きな中高年一般市民。

8.これまでの活動

- ・土壌 pH と EC の測定実習
- ・測定機器比較実験
- ・土壌改良実験
- ・市民農園の土壌調査



	土壌pH	EC(mS/cm)
AIHARA-A	7.0	0.2
AIHARA-B	7.2	0.2
SAHARA *	7.0	0.2
YOSHII*	6.9	0.3
MIYAMOTO-A	7.1	0.1
MIYAMOTO-B*	7.1	0.2
OKADA-A	6.9	0.6
OKADA-B*	7.1	0.1
MATSUDA*	6.7	0.3
MATSUMOTO-A*	7.2	1.0
MATSUMOTO-B*	6.7	0.2

*アブラナ科野菜栽培中

・土壌医検定受験対策講習会

2020年1月19日に行われた講習会では、農業関連企業にお勤めの若い方々の参加があり、若年層と中高年層が互いに受験に向けてのモチベーションを高め合いました。

そして、60代～80代の会員4名が果敢に2級を受験。3名が見事合格しました。

(2019年度2級合格率30.5%)



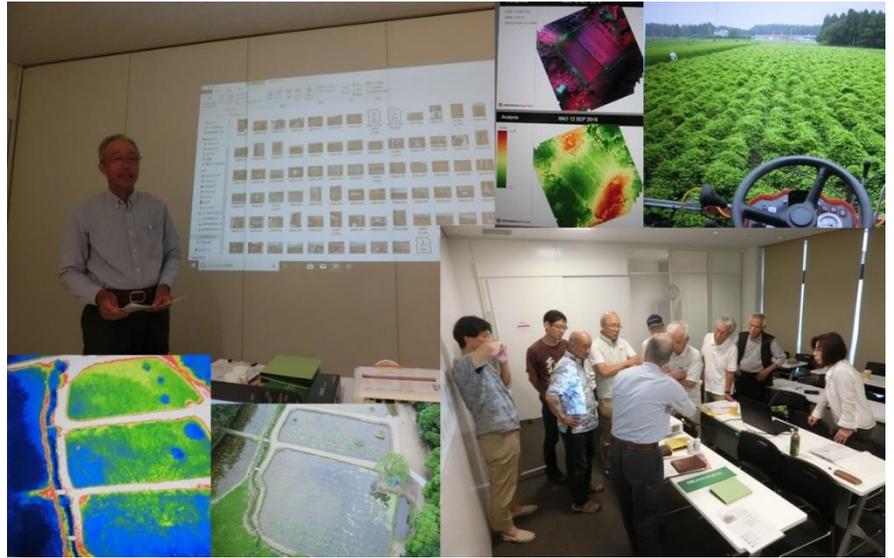
日本土壌協会の先生に毎年講師をしていただいています。

・講習会「農業生産現場での農作業・土壌管理の実際と新しい試み」

講師：JGAP 認証農場主・ASIAGAP 指導員・土壌医・施肥技術マイスター

ドローンで撮影したマルチスペクトル画像による栽培管理・省力化農機による作業等の先進的生産現場、農業生産工程管理（GAP）についての説明をしていただきました。

(2019年9月22日)



・首都圏土壌医の会との連携

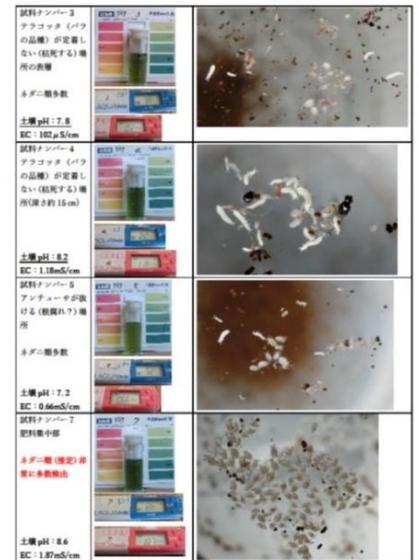
首都圏土壌医の会の小規模圃場土壌調査に参加しています。

首都圏土壌医の会の皆様と

9.今後の活動計画

- ・11月に開催される柏市民活動フェスタに出展（土壌 pH 簡易測定・栽培相談等を通じて土壌管理の重要性を市民の皆様へPR）
- ・土壌医検定対策勉強会
- ・家庭菜園・市民農園等での土壌 pH・EC 測定と土づくりアドバイスの継続
- ・土壌管理市民農園（構想段階）
- …土壌分析に基づく土づくりと病害虫対策を土壌医の会で担当。

種苗や植え付け等には統一的な規制を設けず、自由な栽培を楽しめる貸農園。



根腐れ多発土壌からロビンネダニと推測される多数のダニを検出

10.入会のお誘い

土づくり、土壌管理の重要性を一緒に勉強し一緒に広めていただきたいと思います。

<http://kashiwanpo.genki365.net/gnkk07/mypage/index.php?gid=G0000570>

「高知土壌医の会」の案内

1.会の名称

高知土壌医の会

2.設立年月日

平成 29 年 9 月 22 日

3.会長

山崎 浩司

4.会長のプロフィール

元高知県職員 62 歳
土壌医 (D17050121)

5.事務局の住所、連絡先

〒780-8072

高知市曙町 1 丁目 38-19-6

TEL 090-2788-0254

E-mail hyamasaki169@gmail.com

6.会員数

正会員：26 名

準会員：3 名

7.会の特色.

「高知土壌医の会」には、土づくりや施肥管理に関心がある高知県内の農業者、農業関連会社職員、公務員（農業高校教員含む）、大学教授など幅広い方が加入しています。会員相互の交流や土づくり・施肥に関する研修を通じて、現場の土づくりに関する課題解決力の向上を図るための活動を行っています。

8..近年の活動状況

1) 総会 (5～6 月)

2) 土づくり研修会 (年 3 回程度)

・ 県内農耕地土壌の分布と特徴について

- 土壌断面調査
- 野菜栽培圃場およびユズ園地の土壌管理について
- 健康診断に基づく土壌病害管理について
- 環境制御技術について
- G A Pについて

3) 土壌医検定試験（2, 3級）受験予定者に対する講習会



9. 今後の活動計画（予定）

1) 土づくり研修会の開催

- ・良食味米生産のための土壌管理について
 - ・スマート農業について
 - ・作物生育障害診断支援システムについて
 - ・簡易土壌分析について
- 2) 土壌医検定試験受験予定者に対する支援
- ・受験案内、勉強会の開催など

10.入会のお誘い

土づくりや施肥に関心がある方、知識・技術の向上のために私たちと一緒に勉強していきませんか？ 参加を心よりお待ちしております。

信州土壤医の会の案内

1.会の名称

信州土壤医の会

2.設立年月日

2017年9月28日

3.会長

吉田 清志

4.会長のプロフィール

全農長野県本部 技術審議役

元 長野県農業試験場

5.事務局の住所、連絡先

長野県松本市大字新村 2904

松本微生物研究所 0263-47-2078

6.会員数

正会員：16

準会員：1

7.会の特色.

全国有数の農業県である長野県の農業の発展に寄与できるように、基盤である土壌・肥料に関する基礎的な勉強と農業高校などの後継者への働きかけを重点においています。

8. 4月～9月（上半期）の活動状況（写真入り可）

全国土壌改良資材協議会 秋の現地研修会への協力と参加

長野県野菜花き試験場・あづみ農園(リンゴ農家)等の視察研修

9. 10月～3月（下半期）の活動計画

11月11日 長野県土作り研修会

（主催：長野県・JA長野県中央会・JA全農長野県本部・(一財)長野県農林研究財団）への共催

講演「地力窒素の簡易診断と診断結果を利用した窒素施肥設計について」
など

昨年と別地域での土壌断面調査の研修

農業大学校、農業高校、JA、農業法人を対象とした、土壤医検定の準備研修

会 等を考えていますが、提案も歓迎します。

10.入会のお誘い

土作りを考える基礎となるような内容の研修を重視しています。

御自分の農業技術の裏づけのために、農業技術を伝えていくために、資材や肥料の科学的な根拠を知るため、いろいろな目的を皆さんで共有し、最終的には長野県農業の発展のために、皆さんの参加をお待ちしています。

北海道オホーツク土壤医の会の案内

令和元年 10 月現在

- 1、 会の名称 ; 北海道オホーツク土壤医の会
- 2、 設立許可年月日 ; 2017年12月12日
- 3、 会長 ; 佐藤富則
- 4、 会長プロフィール
 - ・畑作・野菜農業生産者 (有) 佐藤農場
 - ・平成 25 年土壤医登録
 - ・地域 (小清水町内中心) 土壤医検定試験の意義をアピールしてきた、併せて受験講習会を年数回開催してきた。
 - ・令和 1 年現在 土壤医 2 名・2 級合格者 9 名 (マスター 5 名)・3 級合格者 9 名 (農業生産者・農協職員)
- 5、 事務局 ; 小島和彦
北海道斜里郡小清水町字水上 佐藤農場内
- 6、 会員数
 - ・正会員 : 6 名
 - ・準会員 ; 4 名
- 7、 会の特色
 - ・受験講習会
 - ・受験者対策は当然だが、資格者が講師を交代しながら務め土壤関連知識のスキルアップや継続研鑽 CPD 取得、も兼ねてきた。
 - ・今回受験しない方でも、土壤関連の幅広い知識を習得するため講習会に参加してくれた方もいました。
 - ・今年度より土壤医検定試験の準会場を網走市で、実施・運営した。
 - ・近隣 農業高校・大学を訪問し、土壤医検定試験のアピールを実施。
- 8、 令和元年活動実績と今後の活動予定
 - ・6月7日 JA 青年部開催の学習会にて講義

- ・6月25日定期総会開催

予定

- ・11月25日土壌医検定に向けての研修会開催

- ・12月20日第2回土壌医検定研修会

- ・1月25日第3回土壌医検定研修会

- ・小清水町内外に呼びかけて土壌医検定受験の意義アピールし受験者増加を図りたい。

- ・受験講習会の開催。

- ・検定試験準会場（網走）の設営・実施。

- ・地域のテーマでセミナーを開催したい。

9. 入会のお誘い

- ・今までは町内（北海道 小清水町）での活動が主でしたが、オホーツク管内から会員を求めます。

- ・遠隔地に行かなくとも継続研鑽 CPD が取得出来るような講習会を行いたいと思っています。

J A 青年部 土づくり 土壌診断に向けての学習会風景



土壌医検定講習会風景



検定試験網走会場（エコセンター）2級



大分土壤医の会の案内

1. 会の名称

大分土壤の会

2. 設立許可年月日

2018年6月20日

3. 会長

小野 忠

4. 会長のプロフィール

大分県農林水産研究指導センター農業研究部

全農大分県本部営農支援検査センター 2018年3月退職、現在に至る

農学博士

土壤肥料研究（佐賀、大分県を通じて果樹、野菜、水稻、養液土耕・養液栽培、有機物施用、微生物管理）に従事

5. 事務局の住所、連絡先

連絡先（会長）

大分県豊後大野市三重町内田3166-8

電話 : 090-9792-2918(小野)

e-mail : oitadojyoi@oct-net.ne.jp

事務局

大分県速見郡日出町大字川崎字浜田5969番地3

片倉コープアグリ株式会社九州支店

事務局長 江渕 章

電話 : 0977 (72) 1122

6. 会員数

正会員 : 15

準会員 : 34

7. 会の特色

会員の土づくりの知識や技術の向上を目指し、実践的で楽しい研修を提供することに役員一同知恵を出し合っています。研修では専門医会員の体験談や得意とする分野の話題を講師として発表頂き自己研鑽に勤めて頂きます。

意欲ある農業者を対象に土づくりに係る知識の向上を図ることを目的とし、「土づくり地域研修会」の出前研修を募集し、地域内での土壤医の会の認知を図りたいと思います。

大分土壤医の会は、設立当初には県内の肥料・資材製造販売会社、県の研究機関、農業法人、農業生産者および土壤に興味をもつ一般の会員が多数入会さ

れましたが、その後は試験合格者の入会数が少なく、これらの方々に声かけをし会員の拡大を図っていきたいと思います。

県の農業と主要品目では、内陸部には阿蘇山の火山活動で生成した黒ボク土が、平野部には低地土が分布し、トマトやピーマンの他、多様な野菜やナシ、ブドウ、カンキツ、カボス等の果樹類や花き類、米・麦・大豆が多様な種類の土壌で栽培されています。多様な土壌に多様な品目が栽培されており、その土地の土壌が作物生産に与える影響を正しく評価した土つくりの指導が重要で、生産者自らが専門的な知識を習得することや土つくり指導者として土壌医の会の役割が期待されます。

8. 4月～9月（上半期）の活動状況

水田土壌の科学と土壌管理 7月17日

豊後大野市フレッシュランドみえ 参加者 24名

9. 10月～3月（下半期）の活動計画

秋季研修会

土壌診断の進め方(室内研修および現地調査（水田および畑土壌断面）

豊後大野市中央公民館 11月26日

土壌医検定試験一般研修会（2、3級）

1回目 12月5日（木）、2回目 1月23日（木）

土壌医検定試験農大研修会（1月24日、2月7日、2月16日）

10. 入会のお誘い

“土つくりの指導に関わっている方（普及員、営農指導員）、農業法人に勤められている方、土壌に興味のある方（どなたでも）の入会を歓迎します。”

大分土壌の会には土壌医検定資格者、試験合格者および準会員（これから土壌医試験にチャレンジされる方、土壌に興味のある方）はどなたでも入会できます。平成30年度に土壌医検定試験大分準会場が設置されて約100名の県内在住者が受験されました。今後は合格者を中心に会員の増加が見込まれます。

研修会の企画・運営は土壌医の会の最重要課題です。現地土壌調査では土壌を試掘し土に触れ、室内研修では処方箋作成や具体的な土つくりの問題点と改善方法についての意見交換、会員の活動発表等の実践的な体験をして頂く予定です。土つくりについての知識や技術を習得、研鑽し専門家を目指しましょう。

札幌土壤医の会の案内

- 1.会の名称 札幌土壤医の会
- 2.設立許可年月日 2018年7月19日
- 3.会長 根本 浩
- 4.会長のプロフィール 職業 農業 北海道畑作物35ヘクタール栽培
 土壤協会のホームページ見て農業経験で受験資格
 得られるので受検 4回目の試験で合格。
- 5.事務局の住所、連絡先
 事務局の住所と担当窓口者名
 石垣 洋
 郵便 067-0022
 住所 江別市江別太562番地24
 所属 株式会社 丹波屋 技術部 栽培課
 電話 011-38-2328
 Fax 011-381-2337
 メールアドレス h-isigaki@kk-tanbaya.co.jp
- 6.会員数
 正会員：8名
 準会員：
- 7.会の特色. 土壤医中心に会員がおり 職業も農業、指導者、土壤検査、機械、
関係、研究機関、肥料製造、幅広くお互いの知識専門知識があり幅広い活動が
可能です。
- 8.昨年の活動状況
 5月 ジャガイモ、玉ねぎの土壌について 植え付け、堆肥講習。



8月 玉ねぎ、収穫調査、小松菜状況比較。

9月 ジャガイモ収穫調査



9.今後の活動計画（予定） 2月講習会。

北海道土壌特徴調査。

10.入会のお誘い

札幌近郊の土壌医、マスター、アドバイザーが中心に会員になっており、まだ会員少人数ながら活動しております。

職業も幅があるので異業種交流的にお互いの専門性が生かせるのではないのでしょうか。

茨城土壤医の会のご案内

1.会の名称

茨城土壤医の会

2.設立年月日

平成30年8月22日

3.会長

屋代 幹雄（代理）

4.会長のプロフィール

5.事務局の住所、連絡先

茨城県土浦市並木5丁目5511番地

片倉コープアグリ株式会社 筑波総合研究所

茨城土壤医の会 事務局 三星 暢公（みつぼし まさひろ）

TEL：029-832-0901 FAX：029-831-7881

メール：masahiro_mitsuboshi@katakuraco-op.com

6.会員数

正会員：21名

準会員：4名

7.会の特色

会員相互の情報共有・交換

現地研修会・見学会による技術向上

土壤医資格者登録への支援、普及指導

8.昨年の活動状況

・技術研修会

日時：2019年10月21日（月） 13時30分～16時30分

場所：JAなめがたしおさい営農センター

内容：サツマイモの生産・加工事情についての研修およびサツマイモ
貯蔵施設の見学

- ・研修内容と講師
 サツマイモ栽培の課題と対策
 行方地域農業改良普及センター 専門員 青木隆治
 サツマイモの品種変遷
 全農茨城県本部生産資材部 技術顧問 泉澤 直
 行方地域の土壌診断とサツマイモ品質
 茨城県農業研究所 環境土壌研究室 主任 菅谷俊之
- ・貯蔵施設見学
 サツマイモ貯蔵施設見学（説明と案内）
 JAなめがたしおさい農協 営農経済部長 金田富夫



講義の様子



圃場視察



貯蔵施設見学

- ・茨城土壌医の会幹事会
 日時：2019年7月25日
 場所：園芸研究所会議室
 内容：「茨城土壌医の会」今後の活動方針について意見交換

日時：2019年9月27日
 場所：園芸研究所会議室
 内容：現地研修会について打合せ

9.今後の活動計画（予定）

- ・現地圃場での研修会
 日程：2020年秋
 場所：未定
 内容：茨城県内の産地化の取組みについての研修および産地における取組みの見学
- ・技術講習・視察 県内外の試験研究機関、分析センター等
- ・意見交換会・交流会の開催

10.入会のお誘い

- ・「茨城土壤医の会」では広く会員の登録・勧誘を行っています。

土壤医の会では、有資格者の入会登録だけでなく、土壤医受験のアドバイスなども行っていますので、お気軽に相談ください。

三重県土壌医の会のご案内

1. 会の名称 : 三重県土壌医の会
2. 設立年月日 : 平成30年10月26日
3. 会長 : 近藤芳弘
4. 会長のプロフィール

三重県農業研究所、農業改良普及センター等を経て現在、三重県病害虫防除所副所長

5. 事務局の住所、連絡先

〒515-2316

三重県松阪市嬉野川北町530 TEL 0598-42-6365 FAX 0598-42-7568

三重県病害虫防除所 近藤 (Email kondoy01@pref.mie.lg.jp) まで

6. 会員数

正会員：16名(土壌医の会全国協議会員)

準会員：4名(学識経験者等)

7. 会の特色 :

農業経営者(法人含む)、土づくり指導機関、土づくり関係会社の職員でバランスよく構成されています。会員が互いに協力しあって研修会を運営し、活発な情報交換をしています。

8. 令和元年度の活動状況

下記の3回の研修会を実施しました(予定含む)。

第1回「土づくりの課題解決に必要な豆知識！(土壌・資材を中心に)」

講師：外部講師

第2回「施設トマト栽培における土づくり」

(1) 我が家のトマト栽培概要(不耕起栽培による土壌管理)

講師：三重県土壌医の会会員

(2) 土壌診断による土づくり事例

(当地区における土壌調査結果)

講師：三重県土壌医の会顧問

(3) 土壌断面調査(現地)

第3回 視察研修(会員の施設を予定)

。

10. 入会のお誘い

みなさんが抱えている土づくりの課題や疑問を一緒に解決しませんか。問い合わせやご不明な点がございましたら事務局までご一報ください。



愛媛土壤医の会の案内

1.会の名称 愛媛土壤医の会

2.設立年月日 平成31年11月1日

3.会長 上野秀人

4.会長のプロフィール

土壤医、農学博士（筑波大学）、農林水産省農業環境技術研究所、中国農業試験場で勤務後、愛媛大学助教授、米国カリフォルニア大学デービス校客員研究員兼務を経て現職の愛媛大学大学院農学研究科教授（土壤肥料学教育分野）に至る。

5.事務局の住所、連絡先

〒790-8566 愛媛県松山市樽味 3-5-7
愛媛大学大学院農学研究科土壤肥料学教育分野
電話 089-946-9808
dojoi@agr.ehime-u.ac.jp

6.会員数

正会員：3名

準会員：12名

7.会の特色.

愛媛大学農学部や農学部附属農場を活用して、愛媛土壤医の会の活動を進める予定です。愛媛大学では水田や畑、柑橘栽培において環境保全型農業、有機農業の研究を行っており、地域土壤医の研鑽の場になることを目指しています。

8.昨年の活動状況（写真入り可）

平成30年11月18日(日)13:00-15:00

現地研修会（水稻有機栽培、エコえひめ柑橘園、レンコン浅床栽培、環境保全型農業研究の紹介、情報交換）

愛媛大学農学部附属農場（愛媛県松山市八反地甲 498）

平成31年1月27日(日)13:00-15:30

土壌医検定試験対策講座

愛媛大学農学部（愛媛県松山市樽味 3-5-7）

平成 31 年 2 月 17 日(日)

土壌医検定試験準会場設置（2 級、3 級）

愛媛大学農学部（愛媛県松山市樽味 3-5-7）

9. 今後の活動計画（予定）

令和元年年 1 2 月 1 4 日（土） 研修会（愛媛大学農学部附属農場 愛媛県松山市八反地甲 4 9 8）最新の有機栽培技術の講義、水稻有機栽培、レンコンの浅床栽培、柑橘類のエコえひめ農産物認証栽培など

令和 2 年 1 月 1 1 日（土） 土壌医検定試験対策講座（愛媛大学農学部 愛媛県松山市樽味 3-5-7）

令和 2 年 2 月 1 6 日（日） 土壌医検定試験準会場（2 級、3 級）（愛媛大学農学部 愛媛県松山市樽味 3-5-7）

10. 入会のお誘い

愛媛大学農学部は教育、研究環境が整っており、地域に密着した土壌に関する研究も行っております。これらの施設を活用して、愛媛土壌医の会では、地域の土壌環境改善や農業振興のための研鑽や情報交換を行うことを目指しておりますので、ぜひご入会下さい。

2020年4月版

近畿土壤医の会の案内

1.会の名称：近畿土壤医の会

2.設立許可年月日：2018年11月19日

3.会長：間藤 徹（まとう とおる）

4.会長のプロフィール：京都大学名誉教授 農学博士。専門は植物栄養学、肥料学。窒素やホウ素を中心に研究してきた。有機物を利用した化学肥料を減らすことを考案中。生産現場での有機質肥料の有利性についての検証にも精力的に取り組んでいる。

5.事務局の住所、連絡先：〒561-0802 大阪府豊中市曾根東町1-5-13、連絡先事務局（内山）uchiyama@dgcbase.jp（メールでご連絡ください。）

6.会員数

正会員：21

準会員：2

7.会の特色：学校（大学、高校）、官公庁、民間企業、NPOなど幅広い会員で構成されている。

8.10月から3月の活動状況：土壤医の会全国協議会との共催で、11月26日から27日にかけて、兵庫県淡路島で講演会と現地研修会を開催した。

9.4月から9月の活動計画：京都府等において、講演会や土壌断面調査を含む現地研修を予定している。

10.入会のお誘い：近畿地域（滋賀、京都、奈良、大阪、和歌山、兵庫）は交通の便が良いため、講演会などに参加していただく機会を得やすいと考えています。実力のあるメンバーが揃っていますので、研鑽の場として最適です。既に企業型の土壤医の会に参加されている方にも入会を検討していただきたいと考えています。

2020年4月版

地域土壤医の会の案内文

1.会の名称

九州土壤医の会

2.設立年月日

2019年7月18日

3.会長

大畑 和生

4.会長のプロフィール

農業法人で3年勤務を経て現在のニチモウ(株)にて微生物資材の販売に従事。販売に従事の傍ら、農業者向けに土づくり勉強会にて講師を務める。幅広く土壤改良の手法について提案を行い、最適な農業生産に繋がる方法を模索している。

5.事務局の住所、連絡先

長崎県佐世保市大野町166-4

090-2397-7548、saw_50arashi@outlook.jp（事務局：五十嵐）

6.会員数（入会手続き中含む）

正会員：12

準会員：9

7.会の特色.

- ・会員は九州広域の範囲から参集しており、様々な分野（公的機関、JA、肥料メーカー、生産者など）のメンバーが揃っています。
- ・直接農家と接する機会が多いメンバーが多数ですので生産現場で直面する土壤の問題の解決に取り組みます。

8. 活動計画

（1）4月～9月（上半期）の活動計画

8月 総会および勉強会

(2) 10月～3月（下半期）の活動計画

12月 土壤医検定試験対策勉強会

別途、講習会を企画中ですが、新型コロナウイルスの影響で当面見送ります。

9.入会のお誘い

九州土壤医の会では会長を含めた土壤医1級所持者が3名所属しております。土壤医上位級の取得のバックアップもして参りますので、事務局までお気軽にお問合せください。研修会開催も予定しております。



2019.8.24 設立総会（諫早市）



2019.12.14 試験対策勉強会（久留米市）

「福岡土壤医の会」の案内

1. 会の名称 福岡土壤医の会

2. 設立年月日 令和1年9月17日

3. 会長 一百野 昌世 (いおのまさや)

4. 会長のプロフィール

アグリガーデンスクール&アカデミー福岡・朝倉校 専門講師
元NPO 法人日本オーガニック検査員協会 副理事長
農林水産省「有機JAS有機農産物の検査認証制度ハンドブック」筆者
オーガニック・ランド(株) 代表・オンラインショップIPM資材館
運営

5. 事務局の住所、連絡先

事務局住所： (株) アグリガーデンスクール&アカデミー 福岡・朝倉校
〒838-0023

福岡県朝倉市三奈木3070 (旧福岡県立朝倉農業高校内)

担当窓口者名： 幸坂 寿 / 佐藤芙美子

メールアドレス： h.kohsaka@agrigarden.co.jp /

f.sato@agrigarden.co.jp

電話番号： 0946-23-8257 FAX： 0946-23-8258

6. 会員数 (最新版に修正)

正会員： 3名

準会員： 4名

7. 会の特色.

会の活動方針は以下の通りです。

1. 土づくりに関する情報収集、情報の交換、調査、実証、情報の発信に関する活動
2. 土づくり及び土壌診断に関する講演会、講習会、研究会、見学会、実地研修会等の開催
3. 土づくりに有効な肥料・土壌改良資材等の活用方法の検証に関する活動

4. 土壌医検定試験対策等土壌医資格登録者の養成と資格のランクアップに繋がる活動
 5. 土壌医資格登録者の（正会員）の入会促進と継続研鑽要件に資する各種活動
 6. 次世代を担う農業者（農業高校・大学生、新規就農者、農業法人等）への土づくりに関する普及啓蒙に関する活動
 7. その他会員のための現場の土づくりに関する課題解決力の向上に資する活動
8. 4月～9月（上半期）の活動状況（写真入り可）
9月のため活動実績なし
9. 10月～3月（下半期）の活動計画
3級検定受験対策基礎講習会 10月～12月で7回開催
3級検定受験対策直前講習会 2月1/2日

10. 入会のお誘い

農業人材教育研修機関であるアグリガーデンスクール&アカデミー福岡朝倉校を母体とした会です。医食同源のごとく、人の健康は、健康な野菜から。健康な野菜は、健康な土から。

健康な土作りの為には、土壌医の活動は不可欠です。一緒に資格取得・資格アップを目指し、地域の土づくりの課題解決に向けて頑張りましょう！

2020年4月版

1. 会の名称 宮崎土壤医の会

2. 設立年月日 令和2年2月3日

3. 会長 赤木 康 (あかぎ やすし)

4. 会長のプロフィール

宮崎県総合農業試験場で土壤肥料研究業務に永年携わる
土壤保全対策事業（土壤調査、土壤診断、対策試験等）
国土調査土地分類基本調査、日本土壤インベントリー土壤図
（宮崎県原図作成）

5. 事務局の住所、連絡先

事務局住所：〒880-1104 宮崎県東諸県郡国富町大字田尻 132

担当窓口者名：中島 健児

メールアドレス：nakashima.k@ryoto.co.jp

6. 会員数

正会員：3名 準会員：6名

7. 会の特色

宮崎県域を主として、土づくりに関心のある個人で構成し、資質向上と情報交流等
を通じ、現場の土づくりを通じ、産業振興に寄与する。

8. 活動計画

(1) 4月～9月（上半期）の活動計画

・設立総会及び第1回研修会

(2) 10月～3月（下半期）の活動計画

・第2回研修会（現地）

9. 入会のお誘い

発足したての会ですが、本会に関心のある方のご入会を歓迎します。

問い合わせ先：事務局 中島 健児 携帯：080-9061-7676

メールアドレス：nakashima.k@ryoto.co.jp

土壤医の会全国協議会

1.会の名称

土壤医の会全国協議会

2.設立許可年月日

2017年3月7日

3.会長

野口 勝憲（片倉コープアグリ株式会社）

4.会長のプロフィール

昭和 49 年鹿児島大学農学部農芸化学科卒業、現在、片倉コープアグリ株式会社技術顧問、農学博士

日本土壤肥料学会、日本土壤微生物学会、日本植物病理学会会員

日本土壤微生物学会評議員、農林水産省先端活用高度化事業専門評価委員、農林水産省有機 J A S 企画検討委員会委員、内閣府 SIP2 期評議員等多数の公職を歴任。

専門領域は、植物と微生物、有機質肥料との関係。

土づくりに関して土壤診断と土壤改良、施肥の提案など各地での研修会、講演会を行い、生産者に対する支援を行っている。

5.事務局の住所、連絡先

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1丁目58番地

一般財団法人 日本土壤協会 土壤医部

電話：03-3292-7281

FAX：03-3219-1646

6.会員数

正会員：54名

準会員：6名

(*注:事業体土壤医の会と地域土壤医の会の会員は自動的に土壤医の会全国協議会(以下、全国協議会)の会員になりますが、上記の会員数は全国協議会にのみに属している会員数)

7.会の特色.

土壤医の会は資格登録者の研鑽の場であり、また、人的ネットワークの形成や情報交流の場です。全国協議会は、地域土壤医の会及び事業体土壤医の会の全国的活動を推進するための全国組織で、土壤医の会の会員を中心にそれ以外の土壤医資格登録者や土壤医の会全国協議会の活動に参加を希望する方で構成されています。

土壤医の会は、現在、事業体土壤医の会が13組織、地域土壤医の会が13組織結成されています。

全国協議会の設立経緯、活動内容や組織、運営体制について、(一財)日本土壌協会のホームページ「土壌医の会全国協議会の概要」をご覧ください。

「土壌医の会全国協議会：<http://soil-doctor.net/zenkoku>」

8. 平成 30 年度の活動状況

全国協議会では、資格登録者の資質を向上し、一層、土づくりの成果をあげていくとともに、土づくりの普及を図ることを主な活動目標として取り組んでおります。

このため、特に空白地域がまだ多く残っている地域土壌医の会の組織化を中心に推進するとともに、土壌診断の処方箋作成を適切に行っていくためのデータベースの整備、農業高校等へ出前研修などの取組を進めております。

これらの活動を円滑に行っていくため、全国協議会の中に研鑽部会、調査研究部会と土づくり普及部会を置いて活動しており、平成 30 年度は次のような活動を展開しました。

(1)土壌医の会の結成促進

平成 30 年度には全国協議会と(一財)日本土壌協会(以下、土壌協会)が連携して組織化を支援した結果、土壌医の会が新たに 8 組織結成されました。その中の 6 組織は地域土壌医の会です。

(2)土壌医の会全国交流大会の開催

昨年 11 月 30 日に東京都の千代田区立日比谷図書文化館 コンベンションホール(地下大ホール)で全国の土壌医資格登録者等が集う全国交流大会を開催致しました。

大会では優良土づくり推進活動の表彰、基調講演、部会活動報告等が行われ、夕方には有志の方で情報交流会が開催されました。

優良土づくり推進活動の表彰事業については、今年度から開始され、最優秀賞に市原知幸氏、優秀賞に高山晃氏(首都圏土壌医の会会長)と野々下昌利氏が表彰されました。

また、これに引き続いて、東京農工大学教授豊田剛己氏から「土壌病害、センチュウ害診断・対策の動向」というテーマで基調講演がなされました。



(写真) 全国交流大会の会場



(写真) 表彰式

(3)地域重要問題検討会の開催(新潟県土壤医の会との共催)

全国協議会と新潟県土壤医の会との共催で、平成 31 年 3 月 16 日(土)から 17 日(日)にかけて地域重要問題検討会が新潟市で開催されました。

地域重要問題検討会は、土づくりに関する地域の重要課題について検討を行うもので、今回は、水稻を中心に大規模化が進む中で重要となっているスマート農業の推進について、土づくりとの関連に焦点を当てて行われました。

初日は ICT 技術、ロボット化等の技術やリモートセンシング技術の最近の開発状況と現地での適用状況について、第一線の専門家から説明がなされました。

2日目は新潟県農業大学校でスマート農業機械の展示とともに、実演が行われ、ドローンについては講堂内で実演が行われ、参加者も操作しました。また、無人トラクターについては、農業大学校の敷地内で実演が行われました。



(写真)無人トラクター



(写真)可変施肥田植え機

(4)初級・中級レベル土づくりに関する実践研修会の開催

(土壌協会と片倉コープアグリ土壤医の会との共催)

昨年 11 月 3 日(土)~4 日(日)にかけて片倉コープアグリ(株)筑波中央研究所において、土壌協会と片倉コープアグリ土壤医の会との共催で初級・中級レベル土づくりに関する実践研修会を開催致しました。初日は土壌の化学性、物理性、生物性診断の実践事例に基づく診断のポイントと留意点についての講義が行われ、夕方には、有志による情報交流会が行われました。また、翌日は、現地で活用できる簡易診断法として土性判別の簡易調査法や現地圃場での土壌物理性調査法の実習等が行われました。



(写真)土性判別の簡易調査法の実習

(5)適切な土壌診断と処方箋作成を支援のために必要なデータベース整備

平成30年度から資格登録者がより適切な土壌診断と処方箋作成を行っていく上で必要と考えられるデータベースを計画的に整備していくこととしています。当面、データベースとして整備していくこととしている事項は次のとおりです。

作物生育障害の症状の特徴とその発生土壌環境に関する事例とデータ
有効態リン酸含量と作物別生育との関係とリン酸を減肥しても収量等が低下しないリン酸水準の事例とデータ

今後、資格登録者の土壌診断の際に活用できるようにしていくこととしております。

(6)農業高校等への出前研修への講師派遣

土づくりの普及を目的として農業高校や農業大学校に出前研修の意向等に関してアンケート調査を行いました。平成30年度は徳島県立農業大学校に県内の土壌医の方に出前研修講師として対応していただきました。

この他、農林水産省が主催する地域における農家を対象とした土づくりセミナーへの土壌医の方等の講師派遣に協力致しました。

9.今後の活動計画(予定)

全国協議会では今後、資格登録者が一層、土づくりの成果をあげていくとともに土づくりの普及拡大を目指して活動を展開していきます。

組織面では、全国的な活動の交流ができるようにしていくため、特に空白地域を中心に地域土壌医の会の組織化とともに、会員数の拡大を図っていくこととしています。

活動内容面では、土づくりの活動業績を一層多く上げていただくため、土づくりのデータベースの整備を強化していくとともに、表彰事業を拡充し、土壌医の会としての活動業績を表彰するなどを検討しております。

また、本年度実施した地域重要問題検討会等の行事は、次年度も実施することとしております。

土づくりの普及推進については、農業高校等における出前研修の拡大、農業法人や市民農園関係者等への土づくりの普及を一層推進していきたいと考えております。

この他、農林水産省が今後推進していくこととしている「土づくりコンソーシアム」の活動に協力していくこととしております。

10.入会のお誘い

新たに資格登録された方とともに、勤務地や住まいの近くに土壌医の会が設立されていないため、土壌医の会に属していない資格登録者に現在、入会を呼び掛けています。

全国協議会に入会するメリットとしては、
全国協議会が行う全国交流大会等の各種行事に参加することができ、継続
研鑽（ＣＰＤ単位取得）の機会が増えます。

資格登録者が協会にＣＰＤ単位実績を登録申請するのに必要な登録手数料が無料になります。

土壌協会が主催する研修会の参加費や協会が事務局となっている土づくり推進フォーラムの講演会等の参加費の割引や全国業協議会と共催による講演会。例えば、全国土壌改良資材協議会が主催する講演会に安い費用（資料代）で参加することが出来ます。

隔月刊誌「土づくりとエコ農業」の購読。正会員のうちゴールド会員は現物無料支給、シルバー会員は電子版を閲覧することができ、資格登録者が必要な情報が入手しやすくなるとともに、ＣＰＤ単位（自己研鑽）が年６単位取得できます。

土壌医検定試験に合格したら、資格登録をされ、是非、土壌医の会に入会されて研鑽されるとともに、人的交流を深められることをお勧め致します。